

平成27年6月会議

(6月12日)

一般質問

★かがみの創生総合戦略について。

①策定にあたり議会との関係は。

議員を対象として、意見・提言を聞く会を設けたいと考えています。また、素案ができた段階で意見を伺う場を持ちたいと考えています。

②議会からの提案は受け入れるのか。期限はいつまでか。

戦略策定のため「産・官・学・金・労・言」など各分野の方々と構成する「かがみの創生総合戦略審議会」を設置し、十分議論していただきます。期限は8月中旬ぐらいになると考えています。

★人口ビジョンについて。

①町の少子化に対する具体策は。

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、今年の10月末を目途に「かがみの創生総合戦略」を策定するため、様々な準備や作業に取りかかっています。その中で、人口減少に歯止めをかけるための対策等、具体策について検討している最中で、中身が具体化した時点で

で、示したいと考えます。

②町は子育て環境が整っていると評価するが、今後は産みやすい町にしていく必要があると思うが。

他市町村に先駆け、子育て支援に関する各種手当、助成制度などを行い、一時保育や病児保育などの面にも早くから力を入れ、町のみならず周辺市町村の住民の方からも「鏡野町の制度は充実している。」と言っているだけになると思います。

現状の制度を維持し「かがみの創生総合戦略」の中で、地域から頂いた意見なども参考にし、検討したいと考え、方策等中身が具体化した時点で、示したいと考えます。

★核のゴミについて。

①特定放射性廃棄物の最終処分に関する基本方針の改定が閣議決定されたが、調査協力の打診はあったか。

今のところ調査協力の打診等一切ありません。

②最終処分への調査協力依頼があった場合、町としてどのように対応するのか。

現在、経済産業省、資源エネルギー庁が全国の自治体に対し、その内容についての説明をして回っている状況だと思っています。

今回の件で申し入れがあった場合は、明確にお断りをしたいと思っています。

★今後の公共施設の運営について

①進捗状況は。

平成27年8月末を目途に現在作成中です。(進捗率約80%)

②総合管理計画、マネジメント基本方針・実施計画を策定し、議会や町民に報告するのか。

いずれの計画、方針も議会・町民との危機意識の共有、合意形成は必要不可欠です。その都度、報告、説明会を行います。

③中間報告を提示し、町民と危機意識を図る考えはあるか。

現在中間報告の予定はありませんが、検討します。

④25年度末に解体撤去を検討していた施設に町は4件との報告があるが、進捗状況は。

平成26年度末までに全て解体撤去を行っています。

⑤鏡野町版総合戦略を策定中だが、施設の運営管理に対する町長の見解は。

公共施設の規模、配置の適正化についても、人口ビジョンによる推計を用いながら検討を進めます。

⑥6月会議で施設改修に公共用施設維持基金から1億4千万あまり充当しているが、適切な施設運営に対する町長の見解は。

公共施設の複合化は財政的にも有効な方法と認識しています。

また人口減少が見込まれる中、複合化により多様なサービス、地域交流の拠点、賑わいの創出にもつながるものと考えており、今後の公共施設の整備方針にも取り入れたいと考えています。

★町のスポーツ振興について。

①現代スポーツの国の方針は。

スポーツ基本法が一番大きな特徴は、全ての国民がスポーツをする権利と、楽しむ権利があることを明確にし、国や自治体はそれを保証する責任を負うということが明文化しています。

②スポーツの経済化・高度化・大衆化は。

高いレベルのスポーツ競技

が、一種のエンターテインメント性を持つことは事実であり、スポーツの産業化が進んでいくことは現代社会の中では当然のことだと思います。町民の方々がライフスタイルにに合わせて、自由にスポーツに接する機会が保障される必要があります。町ではその環境づくりに努力しています。

③スポーツ教育にどのような所感をもっているか。

各年齢層、町の実情に合わせた生涯スポーツの施策を講じることが必要であると感じています。

④町民の健康づくりとスポーツの効用について。

スポーツに親しむことは、健康維持と共に健康寿命を延ばす効果があると考えます。

現在、スポーツ振興策として、少年層にはスポーツ少年団への支援、青壮年層には体育協会への支援を行っています。中高齢者層には、スポーツ推進委員の活動を通じて健康づくりを進めています。

⑤ゲートボールの普及推進について。

他のスポーツ活動と同じく、特定の活動に特化することなく、現在取り組んでいるスポーツ環境づくりに努力します。